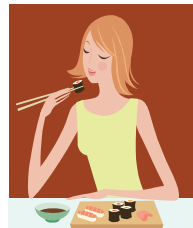


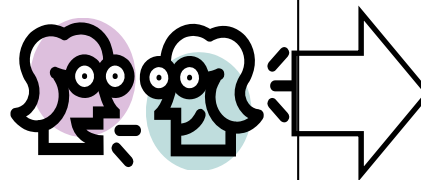
家族と私(2)

家庭、こどもなんて

家庭って、とくに必要でない、と思う。



家庭でなくても、まちには
 レストラン: 食べる場所はある
 ホテル: 寝るところもある
 友達・同僚: 話相手もいる
 など



こどもも要らない、と思う。

こどもがいれば、生活が制約される
 こどもには、時間もお金も奪われる
 こどもがどんな大人になるのか分からない

束の間であっても好きな人と一緒にいければそれで良い。恋愛の連続を希望。

明日への継続のための仕掛け (家庭やこども)

好きな時に好きな人と2人で過ごす、そのような今日。
 今日が明日も続くという仕掛けのご用意は？

●家庭は毎日家族が集まって明日を迎えるところ●

私達は、毎日、家(家庭)に帰ります。どんなに遅くなっても家に帰り、明日家族とともに目覚めます。これは継続が安定した仕組みで、人類の祖先から引き継いだ特徴(戦略)です。

私達人類は、集団生活の中でのひとり暮らしではなく、家族(家庭)生活という生活様式を選択したのです。

●こどもは明日の世代の命●

明日の世代の命を産むことは生きものの基本です。命が明日も継続するかどうかということは、集団が継続するかどうかということにつながります。集団の継続の中で、一人ひとりの継続がありますので大事です。

●家庭は生きている実感をつくる器●

家庭では、家族間相互作用が毎日繰り返されます。家族が脳神経系にしっかり記憶され、呼び起されることが当たり前となっています。家族相互作用はお互いに生きていることを実感させてくれます。